



基本理念「心のかよう医療を行い、信頼される病院」

かわせみ

R5 年度
夏号
VOL.57

◆ 泌尿器科のご紹介

◆ 産科の9人の助産師

◆ 新任医師のご紹介



ご挨拶

白石 由美 (しらいし ゆみ)

副院長兼看護局長

地域の先生方におかれましては、日頃より当院の診療に対してご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は令和2年に指定感染症に位置づけられて以来、2類感染症相当の対策が必要になり、当院は北河内二次医療圏内における第二種感染症指定医療機関として、陽性患者1,851名 発熱外来受診者20,631名(5月31日現在)の診療・看護を行ってきました。5月8日には5類感染症となり、新たな段階に入りました。

新型コロナウイルス感染症は人と人とのつながりを分断させましたが、当院においては、一人一人が工夫と努力を重ね一層の強い絆が生まれたと感じています。看護局理念として「心あたたまる看護」を掲げています。認定看護師や特定看護師、その他の有資格者の専門的な知識を活かしてチーム医療の実践や看護ケアを行い、患者さんのQOLの向上に取り組んでいます。

コロナ禍を乗り越えて、市立ひらかた病院の職員一同が患者・家族の皆様の期待に応えられるよう一丸となって努力して参ります。今後とも、ご協力、ご支援のほどよろしく申し上げます。

泌尿器科をご紹介します



「早期診断・早期治療」を心がけています。

泌尿器科を受診すると聞くと、「なにかあやしい病気になったのではないか」、あるいは、「泌尿器科の待合の椅子に座っていたら、他の患者さんにへんな目で見られるのではないか」なんて、考える方もいらっしゃるのではないのでしょうか。泌尿器科が扱う疾患は性感染症関係ももちろんありますが、それは一部で、癌関係、膀胱の機能関係、尿路結石関係、男性の前立腺肥大症がほとんどです。

尿管結石の痛みは病気の中でも最も痛い痛みの一つとされ、なりたくないのはもちろんのこと、放置すると、腎機能の低下や、感染症を併発すると命にもかかわることがあります。尿管結石だけでなく、膀胱結石、腎結石もあり、当科ではレーザーのほか、結石用の空気圧を用いた物理的な力で結石を破碎する機器を使用し、結石の治療を行っています。

膀胱の機能に話を移しましょう。排尿は人が生まれてから死亡するまで、1日7～8回程度避けては通れない生理現象で人間の恒常性を保つのに必須です。年齢を重ねると膀胱も機能が低下し、急に強い尿意を自覚し、トイレまで我慢できず、失禁してしまうなんてこともあります。そこまでいなくても、少し尿意を感じたら、早めに排尿をすまされている方も多いのではないのでしょうか。過活動膀胱と呼ばれる状態です。過活動膀胱は、洗いのなどの水仕事、洗顔などで誘発されることもあり、また気温の低い時期に悪化がみられることもしばしばです。基本的に膀胱の加齢変化が関わっているので、治る疾患ではありませんが、薬を服用することで、症状が和らぎ、尿に関する意識を遠ざけることができたり、失禁することが無くなる人も多数おられます。受診のためらわず、尿を気にしない生活を手に入れましょう。

癌に関してですが、泌尿器科では男女問わず、血尿のサインである膀胱癌に代表される(腎盂癌、尿管癌)尿路上皮癌と、男性特

有の前立腺癌が多いです。その他、腎癌や陰茎癌、精巣癌も扱います。膀胱癌は早期であれば短期間の入院で尿道からの内視鏡手術を行うことにより、体を切開することなく完治が十分見込めます。しかし、血尿を放置しておくと、進行して浸潤癌となり、膀胱を失うこととなり、尿路変更といって、排尿の道を他に造らなければならず、日常生活に支障が出ます。血尿がみられた時は、すぐ止まったとしても、1回は泌尿器科を受診することをお勧めします。2回見られたら、これは、絶対に受診してください。前立腺癌は、採血で測定できる腫瘍マーカーPSA(前立腺特異抗原)があり、当院では採血してから45分くらいで結果をお伝えすることができます。4ng/ml以上になると癌が疑われます。まずMRIをとり、怪しい癌の部位が特定できれば、そこを狙い撃ちして、肛門から針生検という組織検査を行います。外来で麻酔なしで比較的簡単にできますので、怖がる必要はありません。1週間で結果をお伝えできます。また前立腺癌の手術に関しては、2022年の8月よりロボット手術(ダビンチ)が始まり、全摘手術も可能となっています。入院期間は8～10日程度です。

前立腺肥大症については、薬の服用での症状の軽快や、手術で対応します。薬は一生服用することとなるので、泌尿器科と縁が切れません。しかし手術は、当院の特徴である短期入院で尿道からの手術を行い、術後2回程度の受診で、薬の服用がいらなくなり、また薬の服用以上の効果も得られ、しかも、泌尿器科の待合に座らなくてよくなります。私なら薬を服用するより、手術を選びます。みなさんご心配の術後の失禁は、ほとんど心配いりません。

その他、男性の性機能関係(勃起補助薬の処方)、包茎、パイプカットの日帰り手術も行っています。包茎の手術、パイプカットの手術は公立病院で行うことで、かかる費用を軽くすませることができると思います。

泌尿器科では、早期診断、早期治療に心がけて診療しております。男性の常勤医師3人、非常勤医師1人、また数人のナースが優しく対応します。よろしくお願いいたします。

産科の9人の助産師

産科外来では妊娠時期に応じて保健指導を行っています。妊婦さんが望むお産ができるように分娩時のバースプランを確認し、妊娠中の不安に寄り添えるよう、話を聞きアドバイスをしています。必要時、臨床心理士や精神科医師、医療ソーシャルワーカー(MSW)、地域の保健師などの多職種で構成されるチームで支援を行い、妊娠から出産育児までサポートしています。コロナで中断していた分娩立会いや産後面会も再開しました。

産後は、お母さんの体調に合わせてながら母児同室を行います。赤ちゃんのお世話に慣れ、退院後の自宅での生活がイメージできるような指導を心がけています。母乳育児を推進しており、希望に合わせて対応しています。産後の保健指導では母児の健康や育児を中心に、家族計画(受胎調節指導)、事故防止等も一緒に考えていきます。

産後2週間健診では、退院後のお母さんの状態や赤ちゃんの成長を観察し、育児の疲れや不安等について傾聴する機会としています。授乳期のおっぱいトラブルには、高い知識と技術をもつアドバンス助産師が対応します。



助産師は新しい命の誕生に立ち会うことができる幸せな仕事です。やりがいとともに責任も大きく感じています。当院では、看護師、助産師、産科医師、小児科医師と協働しながら、安心安全なお産を目指しています。

産科の9人の助産師 資格取得状況 (令和5年6月現在)

●産後ケアエキスパート助産師	-----	1人
●アドバンス(助産実践能力習熟段階レベルⅢ認証制度取得者)助産師 ^{*1}	-----	3人
●IBCLC ^{*2} (国際認定ラクテーション・コンサルタント)	-----	1人
●NCPR(新生児蘇生法)インストラクター	-----	2人
●NCPR取得者	-----	19人(助産師・看護師)

※1「アドバンス助産師」日本助産評価機構により最新の知識を有し標準的な助産ケアを自立して提供できる能力を評価された助産師

※2「IBCLC」母乳育児がうまくいくための支援に必要な一定水準以上の技術・知識・心構えを持つヘルスケア提供者。資格認定はアメリカに本部を置くラクテーション・コンサルタント資格試験国際評議会による。

新任医師のご紹介 >>> 亀谷 英輝 (かめがい ひでき)

産婦人科 令和5年5月1日着任
診療局参事 兼 産婦人科主任部長



亀谷 英輝
(かめがい ひでき)
診療局参事 兼
産婦人科主任部長

産婦人科の亀谷英輝(かめがいひでき)です。大阪医科薬科大学、済生会吹田病院を経て、今回、市立ひらかた病院に着任いたしました。専門は産科(周産期医学)と更年期医療です。

産科については、今までの周産期母子医療センターでの経験を活かしていきたく存じます。当院の妊娠・分娩については、安心、安全な医療環境のもとで行うことをミッションに、正常妊娠はできるだけ自然分娩を心がけていきます。

また、妊娠高血圧症や前置胎盤、胎児異常などの妊娠中の異常や、糖尿病や喘息などの内科疾患合併症妊娠などのハイリスク妊娠・分娩も、小児科、内科、精神科などの各種専門医と連携を保ちながら、EBMに沿った管理、治療を徹底し対応していきます。

一方、婦人科疾患もこれまでの実績(内視鏡手術を中心とした低侵襲手術)を基にロボット手術を加えて、患者側に寄り添った医療を維持し、更なる向上を目指したく存じます。

地域の先生方とは更に連携を深め、北河内の頼れる中核病院を目指すために切磋琢磨いたしますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

略歴

昭和59年 6月	大阪医科大学産婦人科学教室入局
平成 6年 7月	公立甲賀病院産婦人科部長
平成10年10月	大阪医科大学産婦人科講師
平成18年 7月	大阪医科大学附属病院 産科・内分泌科 科長
平成19年 2月	大阪医科大学産婦人科准教授
平成26年 7月	大阪府済生会吹田病院産婦人科 統括部長・周産期センター長
令和 5年 5月	市立ひらかた病院 産婦人科主任部長



登録医療機関のご案内

当院と連携している先生をご紹介します

先生
教えてください！

医療法人健緑会 田ノ口診療所

開業の経緯

星ヶ丘厚生年金病院(現星ヶ丘医療センター)脳卒中内科に16年間勤務後、1995年1月17日(阪神・淡路大震災の日)より、田ノ口診療所を19床の有床診療所として開院し、2021年4月1日より隣地に移転、有床を廃止し、無床診療所としてリニューアル開院しました。

患者さんへのアピールポイント

患者さんの訴えをよく聞き、患者さんの立場に立った診療を心がけています。予約制を取り入れ、待ち時間削減し、患者さんの負担軽減に取り組んでいます。高血圧症、糖尿病等の生活習慣病から一般内科まで、幅広く内科系疾患に対応する診療を行っています。他にも、腰痛、肩こり等のリハビリテーションにかかる診療も行っています。開業後28年間、地域の皆様のかかりつけ医としてお役に立てることを目指して、今日に至っています。これからも地域の皆様のためにより良い医療を提供できるようスタッフ共々努めて参ります。

趣味

今のところ、ありません。



田中 健治 先生



住 所 枚方市田口1-21-11

電話番号 072-800-1905

診療科 内科・小児科・循環器内科・
リハビリテーション科・神経内科

にしむら 歯科医院

開業の経緯

当院は40年に渡り、八幡市をはじめとする近隣の患者さんのお口の健康を守るべく診療をしてまいりましたが、この度令和3年12月に父から継承し、リニューアルをいたしました。

患者さんへのアピールポイント

スタッフ一同「地域の一番優しい歯医者さん」をモットーに、患者さんの恐怖心を和らげ、負担の少ない治療を心掛けております。また、小さなお子さんからご高齢の方まで通院しやすいようにキッズスペースやファミリールームを完備し、バリアフリー設計となっております。

趣味

山登りや釣りなど自然と触れ合う事が好きです。



西村 亮多郎 先生



住 所 京都府八幡市八幡長谷56-1

電話番号 075-983-0888

診療科 歯科、小児歯科、歯科口腔外科